「は」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「は」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 28

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「は」で始まる語彙辞典（メジャー）

はい - えつ【拝謁】
［名］（スル）
身分の高い人に面会することをへりくだっていう語。「国王に―する」

肺肝（はいかん）を披（ひら）・く
胸の内を打ち明ける。肺肝を出（いだ）す。「―・いて苦衷を訴える」

はい - がん【拝顔】
［名］（スル）
人に会うことをへりくだっていう語。お目にかかること。拝眉。「―の栄に浴する」

はい - き【拝跪】
［名］（スル）
ひざまずいておがむこと。「神前に―する」

はい - きょう【背教】
信じていた宗教を、背き捨て去ること。信仰を捨てること。棄教。「―者」

はい - きん【拝金】
金銭を最高のものとして、極度に尊重すること。「―家」「―主義」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はい - げき【排撃】
［名］（スル）
相手をしりぞけようと、非難・攻撃すること。「反対意見を―する」

はい - しゃく【拝借】
［名］（スル）
借りることをへりくだっていう語。「お知恵を―したい」

はい - しょく【敗色】
負けそうな様相。負けそうな気配。「―が濃くなる」

はい・する【拝する】
［動サ変］［文］はい・す［サ変］
① 頭を垂れて礼をする。おがむ。「初日を―・する」
②「見る」の謙譲語。お見受けする。「御健康と―・せられる」
③「受ける」の謙譲語。ありがたくお受けする。拝受する。「大命を―・する」

はい - せい【敗勢】
負けそうな形勢。「―を立て直す」⇔勝勢。

はい - せき【排斥】
［名］（スル）
受け入れられないとして、押しのけ、しりぞけること。「外国製品を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はい - ぜつ【廃絶】
［名］（スル）
すたれてなくなること。また、廃止してなくすこと。「家系が―する」

はい - そう【背走】
［名］（スル）
野球などで、前を向いたままで後ろへ走ること。「―して大飛球を捕る」

はい - たい【佩帯】
［名］（スル）
身におびること。腰につけること。「サーベルを―する」

掃(は)いて捨てるほど
非常に多くてあり余るほどであることのたとえ。「希望者は―いる」

はい - とう【佩刀】
［名］（スル）
刀を腰におびること。また、その刀。帯刀。「―した武士」

はい - どく【拝読】
［名］（スル）
読むことを、その筆者を敬っていう謙譲語。拝誦。「御著書―しました」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はい - にん【背任】
［名］（スル）
任務にそむくこと。特に、公務員や会社員などが、自分の利益のために、地位・役職を利用して、役所や会社に損害を与えること。「―行為」

はいばん - ろうぜき【杯盤狼藉】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
酒宴が終わったあと、杯や皿鉢などが席上に散乱しているさま。

はい - び【配備】
［名］（スル）
手配して準備を整えること。「軍勢を―する」

はい - ふ【配賦】
［名］（スル）
割り当てること。「各人に負担金を―する」

肺腑（はいふ）を衝（つ）・く
心の奥底までひびく。深い感銘を与える。「聴衆の―・く演説」

はい - ほう【敗報】
戦いに負けたという知らせ。敗聞。「―が届く」⇔勝報。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はい - めい【拝命】
［名］（スル）
任命されることをへりくだっていう語。命令を謹んで受けること。「全権大使を―する」

はい - めつ【敗滅】
［名］（スル）
負けて滅びること。「軍が―する」

はい - めつ【廃滅】
［名］（スル）
すたれてほろびること。また、ほろぼすこと。「古い慣習を―する」

はい - り【背離】
［名］（スル）
そむきはなれること。「民衆の感情が―する」

はい - りょう【拝領】
［名］（スル）
目上の人から物をいただくこと。「主君から名刀を―する」

はい - れい【拝礼】
［名］（スル）
頭を下げて礼をすること。拝むこと。はいらい。「神前に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はえ - ぬき【生え抜き】
① その土地に生まれ、そこでずっと育つこと。また、その人。生っ粋。「―の神田っ子」
② 初めからそこに所属して今日に至っていること。また、その人。「―の所員」

はかばか - し・い【捗捗しい】
［形］［文］はかばか・し［シク］
物事が望ましい方向へ進むさま。順調に進むさま。多く打消しの語を伴って用いる。「工事の進みぐあいが―・くない」「回復が―・くない」

はがん - いっしょう【破顔一笑】
［名］（スル）
顔をほころばせて、にっこり笑うこと。「合格の知らせに―する」

はき - ちら・す【吐（き）散らす】
［動サ五（四）］
① つばなどを所かまわず吐いて、よごす。「へどを道ばたに―・す」
② さまざまなことを盛んに言う。わめき散らす。「悪口を大声で―・す」

はぎ - あわ・せる【接ぎ合（わ）せる】
［動サ下一］［文］はぎあは・す［サ下二］
布や板などをつなぎ合わせる。はぎ合わす。「布切れを―・せる」

はくいん - ぼうしょう【博引旁証】
［名］（スル）
実例や証拠を広い範囲から多く挙げて説明すること。「―して自説の正当性を主張する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

箔(はく)が付(つ)・く
値打ちが高くなる。貫禄がつく。「経歴に―・く」

はく‐さい【舶載】
［名］(スル)
船に載せて運ぶこと。船に載せて外国から運んでくること。「救援物資を―する」

はく‐じゃく【薄弱】
［名・形動］
① 意志や体力などが弱いこと。また、そのさま。「意志が―だ」
② あいまいではっきりしないこと。また、そのさま。「―な論拠」

はく・する【博する】
［動サ変］［文］はく・す［サ変］
① 自分のものとする。獲得する。「喝采を―・する」「利を―・する」
② ひろめる。「武名を―・する」

はく‐だい【博大】
［名・形動］
広く大きいこと。また、そのさま。「―な知識」

はく‐だつ【剥脱】
［名］(スル)
表面をおおっている物がはげて落ちること。また、はぎ落とすこと。「金箔が―する」「外壁のタイルを―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はくねつ - てき【白熱的】
［形動］
物事が極度に熱を帯びた状態にあるさま。「―な議論が続く」

はく - はく【白白】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 白いさま。「―たる雪山」
② 明らかなさま。疑う余地のないさま。「―たる証拠」「明々―」

薄氷（はくひょう）を履（ふ）む
《「詩経」小雅・小旻から》
非常に危険な状態に臨むことのたとえ。「―思い」

はく - らい【舶来】
［名］（スル）
外国から船によって運ばれてくること。外国から渡来すること。また、そのもの。「―のブランデー」「西洋から―した文物」

はく - らく【剥落】
［名］（スル）
はがれて落ちること。「壁面のタイルが―する」

はくらん - きょうき【博覧強記】
広く書物を読み、いろいろな事をよく記憶していること。「―の人」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

歯車(はぐるま)が噛(か)み合(あ)わ◦ない
人や組織の動きが互いにくいちがって、うまく連動しない。ぎくしゃくする。「ベテランと中堅の―◦ない」

歯車(はぐるま)が狂(くる)・う
どこかにくい違いが生じて、順調に進んでいたことがうまくいかなくなる。「一つ―・うと、あとは目もあてられない結果となる」

はけ‐ば【捌け場】
はけていく場所。はけ口となる場所。「―のない不満」

は‐ごし【葉越し】
葉と葉の間を通して物が見えたり風が吹いたりすること。

は‐ざわり【歯触り】
歯で物をかんでみたときの感じ。「さくっとした―」

梯子(はしご)が外される
はしごをはずされて高い所に置きざりにされる。転じて、先に立って事に当たっていたのに、仲間が手を引いたために孤立する。

はしり‐よみ【走り読み】
［名］(スル)
急いで、ひととおり読むこと。「手紙を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

恥(はじ)の上塗(うわぬ)り
恥をかいたうえに、また恥をかくこと。恥の恥。

恥(はじ)も外聞も無・い
恥ずかしいという感情もなければ、世間の取り沙汰も気にしない。なりふりをかまわない。「―・く金もうけに精を出す」

はじょう - こうげき【波状攻撃】
何回にもわたって繰り返し攻撃を加えること。

恥(はじ)を雪(すす)・ぐ
受けた恥をぬぐい消す。名誉を取り戻す。「みずから疑惑を解明し―・ぐ」

はす - むかい【斜向（か）い】
ななめ前。はすむこう。「通りを隔てた―の家」

弾(はず)みを食・う
他のものの動きの余勢を受ける。「急ブレーキの―・って荷が崩れる」

は - ずれ【葉擦れ】
風で草木の葉がすれ合うこと。また、その音。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はた - いろ【旗色】 の意味
① 《戦場で旗のひるがえるようすによって戦況を知ったところから》戦いの形勢。また広く、事の成り行き。「味方の―が悪い」
② 所属を示す旗の色・形。転じて、自分の所属・立場。「―を鮮明にする」

はた - め【傍目】
はたの見る目。当事者以外の人から見た感じ。よそめ。「―を気にする」

はた - めいわく【傍迷惑】
［名・形動］
まわりの人が迷惑すること。また、そのさま。近所迷惑。「不始末に他人を巻き込むとは―なことだ」

旗(はた)を揚(あ)・げる
① 兵を挙げる。軍を起こす。「討伐の―・げる」
② 新しく事を起こす。新たに事業を始める。「新党の―・げる」

旗(はた)を振・る
運動などを推し進めようとして、率先して人々に働きかける。「市民運動の―・る」

旗(はた)を巻・く
旗を下ろして巻き収める。降参する。また、事を中止したり、手を引いたりする。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はだか - び【裸火】
覆いのない、むき出しの火。「ランプの―」「タバコの―」

跣(はだし)で逃・げる
とてもかなわないと見てはだしのまま逃げ出す。その道の専門家も及ばないほどすぐれていることをいう。

は - だん【破断】
［名］(スル)
金属などの材料に、亀裂やくびれが生じて断ち切れてしまうこと。

は - だん【破談】
一度取り決めた約束や相談、特に縁談を取り消すこと。破約。「―にする」

蜂(はち)の巣(す)をつついたよう
大騒ぎとなって収拾がつかないさま。「―な騒ぎ」

はっ - こう【薄幸】
［名・形動］
幸せに恵まれないこと。また、そのさま。「―な（の）人生」

はっ - せん【発船】
［名］(スル)
船が出発すること。また、船を出すこと。「定刻に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はっ - たつ【八達】
［名］（スル）
道路が八方に通じていること。「街路が四通―する」

発破（はっぱ）を掛（か）・ける
強い言葉で激励したり、気合いを入れたりする。「選手に―・ける」

はつ - あん【発案】
［名］（スル）
案を考え出すこと。ある案を最初に言い出すこと。「旅行しようと―する」

はつ - ぎ【発議】
［名］（スル）
会議の席で意見などを言い出すこと。ほつぎ。「改革案を―する」

はつ - げん【発現】
［名］（スル）
現れ出ること。また、現し出すこと。「個性が―した絵画」「薬効を―する」

はつ - よう【発揚】
［名］（スル）
精神や気分が高まること。意気を奮い立たせること。「民族意識が―する」「士気を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はで - やか【派手やか】
［形動］［文］［ナリ］
はでな感じがするさま。華やかなさま。「―な装い」

鼻息（はないき）が荒・い
意気込みが激しい。強気で威勢がよい。「目指すはチャンピオンの座と―・い」

鼻息（はないき）を窺（うかが）・う
相手の機嫌や意向をうかがう。「上役の―・う」

はなうた - まじり【鼻歌交じり】
鼻歌をうたいながら気軽に事をすること。「―で仕事をする」

鼻（はな）が曲が・る
悪臭のあまりにひどいさまにいう言葉。「―・るような腐臭」

鼻先（はなさき）であしら・う
冷淡に扱う。すげない態度をとる。「くだらない考えだと―・われる」

話（はなし）が遠・い
話がはっきり聞こえない。転じて、話の内容がよく通じない。「レベルが高くて―・い」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

話(はなし)が見え◦ない
話の内容や導き出そうとしている結論がつかめない。「言い訳ばかりで―◦ない」

はなし - ずく【話尽く】
話し合いを十分にすること。「―で決めたことだ」

話(はなし)に花が咲・く
次から次へと興味ある話が出て会話が弾む。「昔の仲間が集まって―・く」

話(はなし)に実(み)が入(はい)・る
話に熱中する。興に乗って盛んに話す。「気が散って―・らない」

はなし - の - たね【話の種】
談話や評判の材料。「―が尽きない」「―に見ておく」

鼻(はな)っ柱(ぱしら)を圧(へ)し折・る
相手の向こう意気や自信をくじく。「つけ上がった若僧の―・る」

鼻(はな)で笑(わら)・う
相手を見下してあざけり笑う。鼻先でふんと笑う。

鼻(はな)に掛(か)・ける
自慢する。得意がる。「成績がいいのを―・ける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

鼻(はな)に付(つ)・く
① においが鼻につきまとう。「香料が―・いて食べられない」
② 飽きて嫌になる。また、人の振る舞いなどがうっとうしく感じられる。「きざな話し方が―・く」

鼻(はな)の下(した)が長・い
女性に甘い。色香に迷いやすい。好色である。「女性に言い寄られて―・くなる」

はな - はずかし・い【花恥ずかしい】
［形］
花もはじらうほど、ういういしく美しい。娘の恥じらうさまにもいう。「―・い年ごろ」

はな - もち【花持（ち）】
生け花などにした花が、しおれずに長持ちする度合い。「この菊は―がよい」

洟(はな)も引(ひ)っ掛(か)け◦ない
眼中に置かず相手にしない。見向きもしない。「あいさつしても―◦ない」

鼻(はな)を明か・す
出し抜いてあっと言わせる。「仲間の―・してやりたい」

鼻(はな)を打・つ
強いにおいが鼻を刺激する。鼻を突く。「消毒臭が―・つ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

鼻(はな)を突き合わ・せる
非常に近く寄り合う。また、狭い場所に一緒にいる。「毎日―・せている同僚」

鼻(はな)を突・く
① においが強く鼻を刺激する。「つんと―・く異臭」
② 主人から勘当される。

鼻(はな)を摘(つま)まれても分から◦ない
真っ暗で何も見えないさまにいう言葉。

花(はな)を持た・せる
人に名誉を譲る。その人を立てて功を譲る。「若い人に―・せる」

羽(はね)が生えたよう
品物がどんどん売れるようすのたとえ。また、物や金などがどんどん減るようすのたとえ。「―に売れていく」「―に金が出ていく」

歯(は)の抜けたよう
まばらで、ふぞろいなさま。また、あるべきものが欠けて、寂しいさま。「欠席者が多くて、―な会場」

歯(は)の根が合わ◦ない
寒さや恐ろしさのためにひどくふるえる。「事故のショックで―◦ない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

幅(はば)が利(き)・く
勢力や発言力がある。はぶりがよい。「町内で―・く人」

はもの - ざんまい【刃物三昧】
刃物を振り回して暴れること。「―に及ぶ」

波紋(はもん)を投・じる
事を起こす。反響を呼ぶ問題を提起する。波紋を投げる。「暴露記事が―・じる」

早(はや)い話が
てっとり早く言えば。簡単に言うと。要するに。「―だめだということだ」

早(はや)かろう悪か
仕事が速いと、手落ちがあって出来上がりが悪くなりがちであるということ。

はや - じまい【早仕舞（い)】
［名］(スル)
いつもより早く仕事を終えること。「店を―して出かける」

はや - だち【早立ち】
［名］(スル)
朝早く旅立つこと。「―して次の宿に急ぐ」

はや - ひる【早昼】
いつもより昼食を早めに食べること。「―をとって出かける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はや - びき【早弾き】
指をすばやく動かして弦楽器を演奏すること。「ギターの―」

腹(はら)が痛・む
自分で金銭を負担する。「費用は先方持ちだから―・まない」

はら - ぐあい【腹具合】
胃や腸の調子。「―が悪い」

腹筋(はらすじ)を縒(よ)・る
おかしくてたまらず、腹の筋が痛くなるほど笑う。腹筋を切る。「珍芸に―・る」

はらだち - まぎれ【腹立ち紛れ】
［名・形動］
腹が立つのにまかせて見境なく事をすること。また、そのさま。「―に空き缶を蹴とばす」

腹(はら)に一物(いちもつ)
心の中にたくらみがあること。「―あるといった態度」

腹(はら)に据(す)えか・ねる
怒りを心中におさめておくことができなくなる。がまんができない。「あの発言はどうにも―・ねる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

腹(はら)の皮(かわ)を縒(よ)・る
おかしくて、腹の皮が捩(よじ)れるほど笑う。腹の皮を捩る。「落語家の熱演に―・る」

腹(はら)の虫(むし)の居所(いどころ)が悪・い
機嫌が悪い。虫の居所が悪い。「―・く人に当たり散らす」

腸(はらわた)がちぎ・れる
耐えがたいほどの悲しみをおぼえる。「―・れる思い」

腸(はらわた)が煮え返・る
言いようのないほど腹が立つ。はらわたが煮えくり返る。「親友の裏切りに―・る」

腹(はら)を据・える
① 覚悟を決める。「―・えて難事にあたる」
② がまんしてこらえる。心を落ち着ける。「あまりのことに―・えかねる」

腹(はら)を読・む
相手の心中を推測する。相手の考えを理解する。「相手の―・みながら交渉を進める」

張(は)り合(あ)いが抜・ける
張り合う相手や目標を失って意欲がなくなる。「強敵がいなくなって―・ける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はりこ‐の‐とら【張（り）子の虎】
虎の形をした首の動く張り子のおもちゃ。転じて、首を振る癖のある人、また、虚勢を張る人、見かけだおしの人などをあざけっていう語。

針(はり)の穴(あな)を通(とお)す
① 野球で、制球力があるさま。転じて、正確なさま。「―コントロール」「―ようなフリーキック」
② 苦労なこと、簡単にはできないことのたとえ。「―がごとき妙手」

はり‐わた・す【張（り）渡す】
［動サ五（四）］
一方から他方に渡して張る。「対岸にワイヤを―・す」

腫(は)れ物(もの)に触(さわ)るよう
機嫌を損じないように気遣い、恐る恐る接するさま。「まるで―な扱い」

歯(は)を噛(か)・む の意味
歯を噛みしめて残念がる。また、悔しさをこらえる。「―・む思いであきらめる」

歯(は)を食い縛・る
悔しさ・苦痛などを歯をかみ合わせて必死にこらえる。「―・って苦難に耐える」

はん‐さ【煩瑣】
［名・形動］
こまごまとしてわずらわしいこと。また、そのさま。「―な手続き」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はん - ざつ【煩雑】
［名・形動］
こみいっていてわずらわしいこと。また、そのさま。「―を極める」「―な手続き」

はんし - はんしょう【半死半生】
死にかかっていること。もう少しで死にそうなようす。「―の目に遭う」

はん - すい【半酔】
［名］（スル）
なかば酒に酔っていること。「―半醒」

はん - すい【半睡】
［名］（スル）
なかば眠っていること。「半醒―」「―状態」

はん - せい【半醒】
［名］（スル）
なかば醒（さ）めていること。なかば意識があること。

はん - ぜん【判然】
［名］（スル）
はっきりとわかること。「遠目には男だか女だか―しない」

はん - ぜん【判然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
はっきりとわかるさま。「―たる証拠」「事件の概容が―としない」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はん - そう【帆走】
［名］（スル）
船が帆を張って、風の力で航行すること。「ヨットが―する」「―船」

判（はん）で押したよう
同じことの繰り返しで、変化のないさま。きまりきっているさま。「―な生活」

はん - ぷ【頒布】
［名］（スル）
品物や資料などを、広く配ること。「希望者に無料で―する」「銘酒の―会」

はん - ぼう【繁忙】
［名・形動］
仕事が多くて忙しいこと。また、そのさま。「―を極めた生活」「日々の―から逃れる」「―な時期」

はん - も【繁茂】
［名］（スル）
草木が盛んに生い茂ること。「水草が―する」

はん - もん【反問】
［名］（スル）
質問をしてきた相手に、逆に問いただすこと。「面接官に―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

はん - もん【煩悶】
［名］（スル）
いろいろ悩み苦しむこと。苦しみもだえること。「独りで―する」

はん - よう【汎用】
［名］（スル）
いろいろの方面に広く用いること。「同一規格の部品を―する」

はん - わらい【半笑い】
［名・形動］
少しだけ笑うこと。多く、困惑したり呆(あき)れたりした際に、その場をとりつくろうために笑うこと。また、そのさま。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.